



新しい年がスタートしました。今まで手にしたことがないジャンルの本も読んでみませんか。

## 『戦争の美術史』

宮下規久朗 著 080/イ/2090



ピカソの「ゲルニカ」をはじめ、戦下には数多の芸術作品が誕生しています。それらは鑑賞者であるわたしたちに様々なことを語りかけてきます。芸術家達は何を捉え、どのように表現と結び付けたのでしょうか。膨大なカラー図版と共に著者の論考に引き込まれます。

## 『先生、カタツムリが背中の殻を修復しています！ [鳥取環境大学]の森の人間動物行動学』

小林朋道 著 481.78/K



衝撃的なタイトルに目を見張る、先生！シリーズも20巻を数えました。小林先生は学長となりましたが、相変わらずヤギ部の部員や学内のヒトたちと、生きものの不思議な習性に驚いたり戸惑ったり、ほっこりしたりしています。ゼミ生たちからの贈り物の章はうっとりなりそうです。

## 『挑戦する田んぼ：生きものたちとお米を作る』

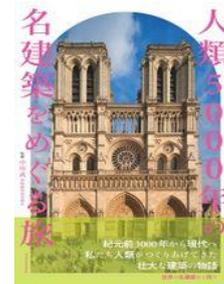
安田弘法 著 081.9/イワ/35



タイトルの「挑戦する田んぼ」の「挑戦」とは、肥料も農薬も使わずに生きものたちとイネを育てることです。多くの環境問題に直面している現在、お米作りも変わっていく必要があるように思われます。農業を通して、これからの社会のこと、暮らしのことを考えさせられます。

## 『人類5000年の名建築をめぐる旅』

二階さちえ 文 中川武 監修 520.2/F



建築物のダイナミックで美しい写真が、世界を旅してそれらを目の前にしているような気持ちにさせて、次々とページをめくってしまいそうです。兵庫県のあの有名建築物も堂々と登場します。解説を読むと、歴史や地理、文化や地球のことにも興味がわいてきそうです。

## 『そのカワイイは誰のため？：ルッキズムをやっつけたくてスリランカで起業した話』

前川裕奈 著 289.1/M



美しくなりたいと思うこと、それは何のため、誰のためなのか、真面目に考えたことはありますか。かつて自分の「見た目」が嫌いだった著者は、ルッキズム(外見至上主義)という言葉を知ったことをきっかけに、ありのままの自分に気づき、夢を抱き、起業家へと成長していきます。

## 『変な地図』

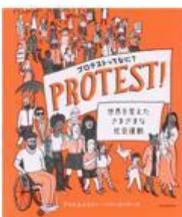
雨穴 著 913.6/Uke



物語はついに家から外へ広がります。大学生の栗原は、自分の祖母が不審な死を遂げたことを知り、その謎を解き明かすための旅に出ます。栗原を待ち受ける不思議な古地図や図版が掲載され、その独特な世界感が織りなす魅力に、あなたもはまりそうになるかもしれません。

## 『プロテストってなに？：世界を変えたさまざまな社会運動』

アリス&エミリー・ハワース=ブース 著 309.02/H



抗議運動と聞くと、例えばプラカードを掲げてデモをするシーンが浮かびます。この本で紹介されている中には、バスで座ることや野菜を育てることなど、「どうしてそれが運動になるの？」と思うこともあります。それらは今の私たちの暮らしにどう関わっているのでしょうか。

## 『風読みの彼女』

宇山佳佑 著 913.6/Uya



『桜のような僕の恋人』の作者の最新作です。職を探している帆高は、「ガラス雑貨専門店・風読堂」のアシスタントの仕事を見つけます。そこで、店主の長戸辺風架(しなとべふうか)さんはもう一つ別の仕事をしていることを知ります。それは「風読み」という特別な力を使うのです。



# 今月の新着から



## ■ 1 哲学

『自分と他人の本音がわかる!なるほど心理学』  
ゆうきゆう 監修 140.4/Y

## ■ 2 歴史

『不法に仕えた法律家 : フランツ・シュレーゲルベル  
ガー:ヒトラー・ナチス政権下で活躍した法律家の生涯と業  
績』 ミヒャエル・フェルスター 著 本田稔 訳 289.3/F

## ■ 3 社会科学

『自分らしく、あなたらしく:きょうだい児からのメッ  
セージ』  
高橋うらら 著 369.49/T

## ■ 4 自然科学

『虫と仕事がしたい!』 丸山宗利・柳澤静磨 編著 486/M  
『トリセツ・カラダ : カラダ地図を描こう:カラダの  
中身、どうなっているかわかりますか?』  
海堂尊 著 ヨシタケシンスケ 絵 491.3/K



## ■ 6 産業

『有機・無農薬でベランダでできる!コンテナ野菜づ  
くり』  
金子美登・金子宗郎 監修 626.9/K

## ■ 7 芸術

『いま聴く!クラシック新名盤』  
松本大輔 著 760.8/M

## ■ 8 言語

『ひと言で印象が変わる言い換えの「語彙力」2496』  
西東社編集部 編 814/S

## 冬にピッタリな物語をご紹介します

『ムーミン谷の冬』トーベ・ヤンソン 著

配架場所:甲南の100選コーナー 請求記号:949.83/ヤ/5  
まっ白な雪にとざされたムーミン谷。パパとママといっしょに  
冬眠したのに、なぜかひとり目覚めてしまったムーミンとロー  
ル。初めて体験する冬に大はしゃぎのムーミンでしたが、  
どうやら目覚めたのは彼だけではなかったようで…。  
文と絵を手がけたヤンソンは、この作品を発表後、  
さらに評価が高まり、国際アンデルセン賞を受賞しました。

## ■ 9 文学

『季語の博物誌』 工藤力男 著 911.307/K  
『さよならジャバウオック』 伊坂幸太郎 著 913.6/Isa  
『デモクラシーのいろは』 森絵都 著 913.6/Mori  
『読書感想文が終わらない!』 額賀濤 著 913.8/N

## ■ 文庫・新書

『バイリンガルの壁:子どものことばの発達をどう支え  
るか』 松井智子 著 080/イ/2084  
『寿命はなぜ決まっているのか:長生き遺伝子のヒミ  
ツ』 小林武彦 著 081.9/イ/824(b)  
『これからの建築入門:<自分でつくる>を取り戻せ』  
松村秀一著 081.9/イ/1005  
『「面白い!」を見つける:物事の見え方が変わる発想  
法』 林雄司著 081.9/チ/509  
『ピッケルと口紅:地球あちこち登った笑った考えた』  
北村節子 著 786.1/キ

## 寒い日にピッタリ!世界のスープ料理のご紹介

**アホスープ**…アホ(ajo)とはスペイン語でニンニクのこと。スペイン・カスティーリャ地方ではポピュラーなスープで、トマトにニンニクを利かせ、卵を入れたパンによく合うスープです。

**コムタン**…韓国の定番スープ。シンプルな味付けで牛テールをじっくり煮込んだコラーゲンたっぷりスープはお肌にもお腹にもうれしいスープです。

**トムヤムクン**…海鮮とスパイシーな辛味・酸味と独特のハーブの香りがクセになるお味。タイを代表する国民的スープです。

**オニオングラタンスープ**…オニオンたっぷりのスープにチーズとバケットを乗せてオーブンで焼き上げた、18世紀ごろに誕生したフランスの冬定番熱々スープです。



## スープの始まり



紀元前1500~1600年頃のエジプトからスープの歴史は始まりました。その頃のスープは、肉・野菜・固くなったパンをいっしょにした煮物のようなものが主流だったそうです。  
日本にスープが伝わったのは1549年フランシスコ・ザビエルが来日した頃とされています。当時はソップと呼ばれていました。しかし、日本で本格的にスープが広まったのは洋食が広まった明治ごろになってからでした。